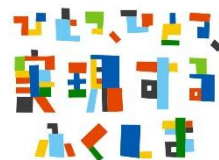


主要な農作物の生育情報

令和8年度 第7号

(令和8年10月9日現在)

福島県農林水産部農業振興課



【作物】

1 水稻（農業総合センターの作柄解析試験における生育概況）

出穂期が平年より遅く、コシヒカリの成熟期は、本部（郡山市）では10月1日（平年差 +14日）、会津地域研究所（会津坂下町）では9月22日（平年差 +7日）、浜地域研究所（相馬市）では9月24日（平年差 +6日）と平年と比べて遅くなりました。

稈長は平年並から長くなりました。9月30日時点の倒伏程度は、前年より大きく、今後の降雨により、さらに大きくなる可能性があります。

県内の刈取始期（5%到達）は9月26日（平年9月22日）と遅くなりました。9月30日現在、刈取進捗は16%（昨年44%）となっています。

表1 水稻主要品種の稈長、穂数、成熟期と登熟日数（農業総合センター）

調査場所	品 種	移植期 (月.日)	稈長 (cm)	穂数 (本/㎡)	成熟期 (月.日)	登熟日数 (日)
本 部	ひとめぼれ	5.15	88.8 (107%)	535 (112%)	9.20 (+11)	51 (+11)
	天のつぶ	5.15	74.5 (101%)	473 (111%)	9.25 (+13)	52 (+12)
	コシヒカリ	5.15	103.8 (110%)	441 (112%)	10.1 (+14)	51 (+11)
会津地域 研 究 所	ひとめぼれ	5.20	95.0 (105%)	547 (100%)	9.13 (+ 2)	45 (+ 1)
	天のつぶ	5.20	82.3 (106%)	524 (108%)	9.20 (+ 7)	48 (+ 6)
	コシヒカリ	5.20	104.0 (104%)	476 (105%)	9.22 (+ 7)	47 (+ 5)
浜 地 域 研 究 所	ひとめぼれ	5.11	96.1 (103%)	553 (99%)	9.18 (+ 9)	50 (+ 7)
	天のつぶ	5.11	79.1 (102%)	490 (96%)	9.22 (+ 6)	52 (+ 4)
	コシヒカリ	5.11	105.1 (105%)	431 (98%)	9.24 (+ 6)	46 (+ 2)

注1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市

注2) 穂数、成熟期、登熟日数は暫定値

注3) 括弧内の数字は、会津地域研のコシヒカリでは前4年平均（2021, 2023～2025年）、それ以外では前5年平均（2021～2025年）との比較を表す。稈長と穂数は、前5年平均に対する比率、成熟期と登熟日数は前5年平均との日数差。

【野菜】

1 秋ブロッコリー

県南地方では、定植が平年並の8月上旬から始まり、雨天の影響で一部遅れたものの9月上旬までに終了しました。相双地方では、8月下旬以降の定植が遅れており、平年より10日以上遅れているほ場も見られています。県全域としては、8月上旬に定植されたほ場では順調に生育して、9月下旬から収穫が始まりました。一方、8月中下旬以降の定植では、根腐れによる欠株や生育不良が発生しています。

病害虫は、黒すす病が平年より少なく、べと病やヨトウムシが平年よりやや多い発生です。

2 秋冬にら

前年度と比較して順調に生育していましたが、9月以降の曇雨天の影響によって草勢が低下傾向となっています。県内の早い地域では10月上中旬頃に捨刈りを行い、10月下旬から収穫が始まる見込みです。

病害虫は、ヨトウムシ等のチョウ目害虫の発生が平年に比べて多く、アザミウマ類や白斑葉枯病が平年並みに発生しています。

3 いちご

普通育苗の花芽分化は、気温の低下等によって平年より3～5日程度早くなっています。定植

作業は9月中旬にピークとなり、その後は順調に生育しています。

病害虫は、炭そ病が発生していますが、例年と比較して少発生となっています。

4 夏秋トマト

県南地方の4月定植の作型は14～15段を収穫中で、南会津地方の5月下旬定植の作型は8段を収穫中です。摘芯作業は平年並みの9月上中旬に摘芯が行われました。県内全域で8月下旬以降の曇天の影響によって果実の肥大や着色が遅れており、草勢は弱く小玉傾向となっています。

病害虫は、県南地方では、黄化葉巻病の被害が昨年度よりも減少しています。南会津地方では、褐色輪紋病が平年並みに発生しています。県内全域では、灰色かび病、葉かび病、タバコガ類の発生が平年より増加傾向です。また、一部のほ場でトマトキバガの発生も見られています。

【果 樹】（福島県農業総合センター果樹研究所における10月1日現在の生育概況）

1 なし

（1）収穫期と果実品質

「豊水」の収穫盛期は9月9日で平年より6日早く、昨年より3日早くなりました。果実の大きさは453gで平年並、糖度は12.0° Brixで平年よりやや低くなりました。

「二十世紀」の収穫盛期は9月9日で平年より9日早く、昨年より4日早くなりました。果実の大きさは488gで平年より大きく、糖度は10.9° Brixで平年並でした。

「あきづき」の収穫盛期は9月24日で平年より3日早く昨年より2日早くなりました。果実重は483gで平年並、糖度は11.4° Brixで平年より低くなりました。

2 りんご

（1）果実肥大

果実肥大を暦日で比較すると、「ふじ」は縦径が83.5mm（平年比104%）、横径が89.7mm（平年比103%）と平年並の状況です。

満開後日数で比較すると、平年よりやや大きい状況となっています。

（2）成熟状況

「ふじ」の満開後164日（9月30日）における成熟調査の結果は、果実硬度が13.5ポンドと平年よりやや低く、糖度は13.1° Brixで概ね平年並、リンゴ酸含量は0.46mg/100mlで平年より高く、デンプン指数が3.5と平年概ね平年並となっています。果皮中クロロフィル含量は概ね平年並、果皮中アントシアニン含量は概ね平年並でした。

※りんごのデンプン指数：指数1～5で評価し、数値が高いほどデンプンの消失が進んでいます。

【花 き】

1 ストック

年内出荷の作型は、定植作業が完了し、その後の生育も順調に進んでいます。出荷開始は、10月中下旬頃の予定です。

現時点で目立った病害虫の発生は見られません。

2 キク類

10月咲きの生育は、順調に進んでおり、一部、出荷が始まっています。

現時点で目立った病害虫の発生は見られません。

【飼料作物】

1 牧草

9月中旬から3番草の収穫が行われています。長雨の影響により一部地域で2番草の湿害が散見されましたが、3番草では草姿の回復がみられ、収量は平年並です。

2 飼料用トウモロコシ

長雨の影響により収穫が遅れています。また、一部地域の小面積でイノシシによる倒伏やア

ワノメイガによる食害がありましたが、大きな病害や倒伏等は確認されておらず、平年並の収量となる見込みです。

3 WC S用稲

長雨の影響により収穫が遅れていますが、収穫作業の遅れ以外に大きな問題はなく、収量は平年並となる見込みです。

◎ 病虫害の発生状況や防除情報については、病虫害発生予察情報（ホームページ）
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/> 等を活用し、適切に対応しましょう。

【農作物の盗難防止対策を実施しましょう！】

- 収穫物は鍵の掛かる倉庫に保管し、窓や出入り口の施錠を徹底しましょう。
- 倉庫には防犯カメラやセンサーライトを設置するとともに、通行人から見える位置に「防犯カメラ作動中」等のステッカーを設置しましょう。
- 定期的な見回りを実施し、異常があれば速やかに警察に通報しましょう。

☆ 農作業事故を防止しましょう！

体調管理に十分留意し、農業機械の操作にも注意しましょう。

降雨が多くなっている地域では、地盤が緩み、崩れやすくなっているところがありますので、ほ場点検を行ってから作業を開始しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiiku>